

令和2年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	15	学校名	静岡県立東部特別支援学校伊豆下田分校	記載者	上村 一成
------	----	-----	--------------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
(1) ア	防災・防犯体制の整備と充実	防災・防犯への備えや個々の役割・行動の確認	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・裏山への避難で、子ども達への負担が減るとよい（トイレ、屋根等）。 ・実践的な訓練を積極的に取り入れてほしい。
(1) ア	危機管理能力の向上	緊急事態に対応できるスキルの獲得	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理に関する理解と実践を深めてほしい。 ・実際に近い形で訓練をして、児童生徒も力を付けてほしい。
(1) イ	人権意識の向上・人権教育の充実	人権意識を尊重した教育活動の恒常的展開	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が目標を確認して指導してほしい。 ・児童生徒の人権を守り、人権教育のモデルとなしてほしい。
(1) ウ	危険個所の点検と改善	危険個所の確認や対応策をとり、状況を共通理解	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・登校前や下校後の教室の安全確認や教室換気は継続して行ってほしい。
(1) ウ	学校環境の整備	指導に適した場の確保と施設の効率的な利用	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新型コロナウイルス感染症の関係で調整が大変だったと思うが、お互いが譲歩して調整を行い、子ども達の活動がスムーズにできて良かった。
(2) ア	学習指導要領の主旨に基づいた指導の充実	教科等横断的な視点での指導内容と年間指導計画の見直し	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の資質向上のため、継続して充実した研修を行ってほしい。
(2) イ	授業実践を通じた、特性や集団に応じた授業改善・授業力向上	授業実践・改善を通しての授業力向上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・下田小学校と時間を調整して、授業を参観し合えると良い。

様式第5号

(2) イ	特別支援教育にかかわる専門性の向上	学習会等から得た知識やアドバイを生かした授業づくり・授業改善	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が分かった、できたと満足できる授業を来年度も進めてほしい。 ・外部から講師を招いて授業研究を行うことは、授業者だけではなく、全教職員にプラスになる。来年度も引き続き行うと良いと思う。
(2) ウ	卒業後の生活を見据えた指導の充実	卒業後の生活を見据えたキャリア教育の実践	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校の生徒だけでなく、特別支援学級の生徒も社会参加ができるよう、連携を取り合ってほしい。
(2) ウ	効果的な個別の指導計画の作成	児童生徒の課題から目標を設定した指導・支援の実施	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス内で十分時間を持てるのは良い。 ・新入生だけではなく、卒業後に向けての指導も充実させてほしい。
(3) ア	目的に沿った学校間交流と交流籍の充実	双方にとって有意義な交流の実施	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度に関しては、新型コロナウイルス感染症の関係で困難だったと思う。コロナ終息後の交流を期待する。
(3) イ	学校と地域との連携作りの推進	地域で生きる力につながる交流及び共同学習の実践	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度に関しては、新型コロナウイルス感染症の関係で困難だったが、その中でも工夫して学習できたことは良かった。
(3) ウ	教育活動の発信	広報啓発による、保護者や外部関係者の学校教育への関心の高まり	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の良さや地域との関わり方などを、積極的に広報し、分校をアピールして行ってほしい。
(3) ウ	地域における特別支援教育の推進	本校の教育の理解向上、外部からの教育相談等の増加	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は下田市との連携がスムーズにいったと聞いた。他の賀茂地区とも連携を深めて行ってほしい。
(4) ア	「チーム下田」による、全員参加の業務改善	業務効率の改善 働きやすい職場環境	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・協働体制、業務の効率化を進め、教職員が気持ちよく働ける職場であってほしい。
(4) イ	信頼される学校づくり	不祥事0、交通加害事故0	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員との自覚を常に持ち続け、信頼性を確立できるように取り組んでほしい。